

大使館便り

第196号 令和元年7月9日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

日本祭り、お陰様で本年もつつがなく終了いたしました。祭りに御参加、御協力頂いた全ての方々に厚く御礼申し上げます。アヴェイロ、ヴィラ・ド・ビスポといった遠方からの御参加もあり、感謝に堪えません。

今年は、ベレン地区のヴァスコ・ダ・ガマ庭園にて、6月22日に開催いたしました。諸般の事情で昨年の会場、パルケ・ダス・ナソエンスが使用できなくなったため、リスボン市並びにベレン地区の当局の御好意で、ヴァスコ・ダ・ガマ庭園を会場とさせて頂くこととなったのですが、下が芝生の公園での開催は、ヨーロッパの夏ののどかな開放感があり、良かったのではないかと思います。フランスの画家ジョルジュ・スーラの、カレンダー等でおなじみの作品、「グランド・ジャット島の日曜日の午後」、或いは、ロック音楽好きの方なら御存じかもしれませんが、ローリング・ストーンズが50年前の夏、ハイドパークで開いたフリー・コンサートなどと相通ずるような。

何れの演目、出展（店）も人気でしたが、とりわけ、リスボン日本語補習授業校の生徒さんのダンスに対し、ヤンヤの喝采が送られていたことが印象的でした。

関係各位に対し、改めて深謝申し上げます。

2. 政治・経済関係

(1) 欧州委員会が2019年次「国別勧告」を発表

6月5日、欧州委員会は、加盟国の経済・財政政策の協調を目的とするヨーロッパ・セメスター（欧州半期）の下、今後12～18ヶ月間における各EU加盟国の経済政策のガイダンスを目的とした2019年次「国別勧告」を発表しました。欧州委員会は、ポルトガルが2020年の中期予算目標を達成するためには、経済成長促進のための支出を優先しつつ、全体の歳出統制強化、費用効果及び適切な予算化を進め、公共財政の質を改善すべきであると述べました。また、労働市場におけるセグメンテーションの課題に取り組んでいくため、市場側ニーズにより適合した大人向けのデジタル読解力の向上を目的とした学習機会を提供することを勧告しました。その他、地域間格差を考慮したR&D、鉄道輸送と港湾インフラ、エネルギー転換及びエネルギー・インフラの連結性を強化するための投資を重視するよう勧告しました。

(2) ユーロソングージェン社の世論調査結果—6月

6月8日、週刊ソル紙は、ユーロソングージェン社が実施した世論調査結果を発表しました。与党・社会党（PS）の支持率は37.1%、最大野党・社会民主党（PSD）の支持率は24%

となり、両党の支持率の差は13ポイントに広がりました。その他政党の支持率は、左翼連合（BE）が9.1%、統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）（CDU）が6.3%、民衆党（CDS）が6.0%、人と動物と自然の党（PAN）が4.8%、アリアンサが1.9%となりました。

（3）「ポルトガルの日」の式典をカーボベルデ等で開催

6月10日、レベロ・デ・ソウザ大統領とコスタ首相は、「ポルトガルの日」（国祭日：16世紀の詩人カモンイスの命日）の記念式典をアレンテージョ地方のポルタレグレ市で開催しました。同式典で演説したレベロ・デ・ソウザ大統領は、ポルトガルが「文化、文明、海洋及び大陸間のプラットフォームである」ことに言及し、「ポルトガル人であることの誇りを強化するためには、世界の変化を先読みする能力を鍛える必要がある」と述べました。同日、レベロ・デ・ソウザ大統領及びコスタ首相はカーボベルデに移動し、サンティアゴ島及びサン・ヴィセンテ島でも式典を開催しました（ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣、ブランダン・ロドリゲス教育相及びカルネイロ外務省コミュニティ担当副大臣同席）。コスタ首相は、ツイッターにおいて、「カーボベルデにおいて、ポルトガル日の式典を開催することには特別な意味がある。我々は実に近く兄弟のような国である」と述べました。11日、コスタ首相は、コレイア・エ・シルヴァ・カーボベルデ首相との会談後、アフリカ芸術に関する展示会を鑑賞した他、ミンデロ港に寄港中のアルヴァレス・カブラル・フリゲート艦を視察しました。12日、コスタ首相は、2020年の「ポルトガルの日」式典がマデイラ自治州及び南アフリカで開催されると発表しました。

（4）ポルトガルと英国が相互の政治的権利保証に関する合意文書に署名

6月12日、リスボンにおいて、ポルトガルと英国は、英国のEU離脱後にも両国の国民がそれぞれの国の地方選挙において投票又は立候補することを可能とする相互の政治的権利を保証する旨の合意文書に署名しました。

（5）レベロ・デ・ソウザ大統領のコートジボワール訪問

6月12～14日、レベロ・デ・ソウザ大統領はコートジボワールを公式訪問しました（ブリランテ・ディアス国際化担当副大臣、カストロ・エンリケスポルトガル投資貿易振興庁長官同行）。12日、同大統領は、アビジャン空港に到着し、バカヨコ国防大臣らの出迎えを受けました。13日、同大統領は、アビジャンの大統領府にて儀仗礼にて迎えられ、ワタラ大統領との会談後、4件の協定（相互投資保護協定、保健衛生分野での協力及び固形廃棄物の活用に関する議定書、観光分野の人材育成に関する議定書、プロフェッショナル人材育成分野での協力に関する議定書）署名に立ち会いました。同日、同大統領は、ポルトガル人企業家らとの昼食会の他、市内産婦人科病院をワタラ大統領夫人と共に視察し、ポルトガル・コートジボワール経済セミナー閉会式にて挨拶後、ワタラ大統領主催晩餐会に出席しました。14日、同大統領は、アビジャン市の名誉市民証及び「市の鍵」を授与された後、ポルトガル企業であるモタ・エンジェル社が運営する固形廃棄物処理センターを視察した他、アビジャン市内のポルトガル語学習者との交流を実施しました。

（6）コスタ首相が欧州理事会に出席

6月20～21日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された欧州理事会に出席しました。同理事会では、EUの戦略的アジェンダ2019～2024が採択された他、EU予算に関する緊

急時対応規則及びEU諸機関の人事について議論がされました。欧州理事会後、コスタ首相は、記者団に対し、ポルトガルが提案した項目（欧州における社会権の柱の発展、気候変動と闘うための対策の強化、経済通貨同盟の完了及びアフリカとの戦略的パートナーシップ）が戦略的アジェンダに反映されたことを評価しました。

（7）本年第1四半期の財政収支、黒字を記録

6月24日、国立統計院（INE）は、2018年第1四半期（1-3月期）の財政収支（対GDP比）が0.4%の黒字（前年同期比1.4ポイント増）となった旨発表しました。ポルトガルが第1四半期に財政収支の黒字を記録するのは1995年以来のことです。

（8）ポルトガル中銀、マクロ経済指標見通しを発表

6月28日、ポルトガル中央銀行は最新のマクロ経済見通しを発表し、2020年の成長率を1.6%に下方修正しました。前回3月からの修正は以下のとおりです。

(%)	2019年	2020年	2021年
GDP	1.7	1.7→1.6	1.6
民間消費	2.7→2.6	1.9→2.0	1.6→1.7
政府消費	0.3→0.5	0.2→0.5	0.2→0.5
設備投資	6.8→8.7	5.8	5.2→5.5
輸出	3.8→4.5	3.7→3.1	3.6→3.4
輸入	6.3→8.0	4.7→4.3	4.1→4.4
失業率	6.1→6.3	5.5→5.7	5.2→5.3
インフレ	0.8→0.9	1.2	1.3

3. 広報・文化関係

（イベント）

●山本宗平絵画展～ポルトガル 無数の詩～の開催

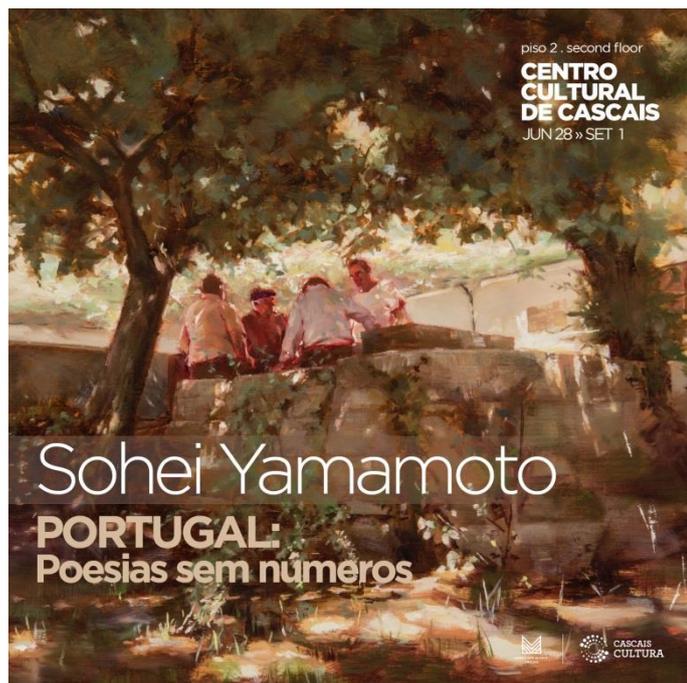
油彩画家山本宗平の標記絵画展が、カスカイス文化センターにおいて下記のとおり開催されています。

日時:6月28日（金）～8月31日（土）

会場:Centro Cultural de Cascais（カスカイス文化センター）

住所: Av. Rei Humberto II de Itália, 2750-642 Cascais

入場無料



(報告)

●日本祭りの開催

6月22日(土)、ベレン地区ヴァスコ・ダ・ガマ庭園において、当館、リスボン市、EGEAC、ポルトガル日本商工会議所、ポルトガル日本友好協会、クラブ・ド・ジャパン、ベレン地区事務所の共催により、第9回「日本祭り」(Festa do Japão)が開催されました。今回は、装いも新たに昨年のオリエント地区からリスボンの歴史地区ベレンに会場を移し、たなばたや和太鼓・三味線&演歌コンサート、日本食屋台、ワークショップ、盆踊り、コスプレ、武道デモンストレーションなど様々なプログラムで来場の皆様にお楽しみいただきました。

開催にあたりご協力頂いた各団体関係者、ボランティアの方々、お越しいただいた来場者の皆様に対し、心よりお礼を申し上げます。







● シントラ太鼓公演

6月23日(日)、シントラ市国立宮殿において、当館、国際交流基金マドリードセンター、シントラ市の共催により、太鼓の公演が実施されました。太鼓グループ「朋郎」及び「Keita Kanazashi with Taiko Enishi」の演奏にシントラ市住民、観光客等約200名の方にご鑑賞いただきました。



● 講演会「日本食文化」の開催

7月3日(水)、ポルト大学ユニヴェルシダーデ・ジュニオール(中高生向けサマーコース)の「にほんごクラス」において、在ポルトガル日本国大使館の広報文化担当・岩波由佳書記官による講演会「日本食文化」が行われました。約60名の学生が参加、日本食文化につき興味深く聴講いただきました。ポルト大学御関係者の皆様、御参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



(お知らせ)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主（共）催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 第25回参議院議員通常選挙に伴う在外投票の実施について

(2) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(3) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使馆・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(4) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

(5) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所 : Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL : 21-311-0560 FAX : 21-354-3975 E-mail : consular@lb.mofa.go.jp